

第 61 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 25 年 3 月 20 日(水)－22 日(金)

名古屋大学 東山キャンパス(平成 25 年電気学会全国大会附設展示会会場)

2. 来訪者:40 名

3. 説明概要:

平成 25 年電気学会全国大会の附設展示会会場において、来訪者に核融合、ITER などに関する資料を配布し、ITER 計画について説明するとともに、ITER 機構職員募集および登録案内を行った。(ITER 計画管理 Gr 西野、ITER 統合支援 Gr 森山)

4. 主な Q&A

Q: ひとりで複数のポジションに応募できますか？

A: ひとりで複数のポジションに同時に応募することもできます。応募するポジション毎に ITER 機構の Web サイトから書類を登録し、ご応募下さい。

Q: 現在カダラッシュサイトで ITER 機構に従事している人数と日本人の数はどうなっていますか？

A: ITER 機構の職員総数は現在 452 人です。専門職員が 294 名、支援職員が 158 名です。日本からは専門職員が 27 名、日本人研究者・技術者が ITER の建設活動に従事しています。支援職員は 6 名です。日本国籍の方の割合は、専門職員が 9.2%程度となっています。この倍の日本人が ITER 機構で働けるよう支援を行っております。

Q: ITER 機構職員募集や応募方法について具体的に教えてください。また面接はどのように行われるのですか？

A: ITER 機構の職員募集は、不定期に ITER 機構のホームページに掲載されます。ホームページのアドレスは <http://www.iter.org/jobs> をクリックして頂ければすぐ閲覧ができます。このホームページで、現在募集中のポストやその職務に関する情報、募集のプロセスに関する説明などを見ることができます。募集されたポストの職務に求められる要件とご自分の経歴などを照らし合わせた上で、応募をご判断いただきます。応募は同ホームページ上で、所定のフォームにご自分の情報を入力し、ITER 機構へ送信すれば手続きは完了します。

応募後、ITER 機構による書類審査に合格すると、次に ITER 機構が行う面接による審査を受けます。面接は ITER 機構の複数の面接者とテレビ会議システムを用いて面接することになります。テレビ会議で面接を行うのは、世界中のどこからでも平等な条件で面接を受けられるようにするためです。この面接審査に対する支援として、原子力機構が実施している登録制に加入していただきますと、模擬面接ビデオを閲覧することもできます。また面接審査の対象の方の希望により、面接のトレーニングも行っています。スカイプ等のシステムをご準備頂きますと、ご自宅のパソコンから面接トレーニングを受講できます。登録制への加入方法について

は、下記の URL をご覧ください。

http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1_information_system.html

Q: ITER 建設地のカダラッシュはどこにあるのですか？

A: イーター建設地のカダラッシュは、南仏のプロバンス地方にあります。画家セザンヌが暮らしたことで有名なエクサンプロバンスからは北東方向に約 40 キロの距離にあります。ITER 建設サイトはフランス原子力庁(CEA)のカダラッシュ研究センターに隣接しています。

Q: ITER 建設地の状況を教えてください。

A: 2010 年 8 月に建屋の基礎工事が本格的に開始されて以来、ITER 建設工事は順調に進展しています。2011 年 12 月には、直径 5m から 24m のポロイダル磁場コイル(ニオブーチタン製)を製作する巻き線建屋(幅 49m、長さ 257m、高さ 18m)が完成しました。2011 年 5 月には、ITER の装置本体が設置されるトカマク複合建屋のピットでは掘削作業が完了し、2012 年 4 月にピットの内壁整備と免振動用ベースマットの設置作業が完了しました。この工事には、コンクリート 100,000 m³、鉄筋 3,400 トンが使用されました。ITER 機構本部ビル(地上 5 階、地下 1 階高さ 20m、長さ 180m)が完成し、新しい本部ビルにて本年 1 月 17 日には 200 名に及ぶ来賓の方々が見守る中除幕式典が開催されました。来賓の方々からは ITER 計画推進支持のメッセージが寄せられました。

Q: 核融合発電の実現時期は？

A: 現在、明確な時期は示されていませんが、現在建設中の実験炉である ITER のファーストプラズマ点火を約 10 年後より開始し、その結果を踏まえて次への段階へと進んでいく予定です。



平成 25 年電気学会全国大会の附設展示会会場の様子(1)



平成 25 年電気学会全国大会の附設展示会会場の様子(1)